

《結果の抜粋と掲載ページ》

■調査概要	2ページ
■水道水に関する意識／東京・大阪・中京圏	
【水道水への評価】	
◇水道水の評価は10点満点中7.46点	3ページ
◇飲用としての水道水の評価は10点満点中7.27点	3ページ
◇水道水への不満、全体のトップ3は「特に不満なし」「料金が高い」「おいしくない」 大阪圏は「水道料金が高い」が1位に	4ページ
【水道水の飲用実態】	
◇ふだん家庭で最も飲んでいる水は、一戸建てに住む人ほど「水道水」。	4ページ
◇ボトルドウォーターに求めるもの、半数以上が“味”を重視	4ページ
◇水道水の最も多い飲用方法、東京圏で「そのまま飲む」が増加、大阪は減少	5ページ
◇飲用方法別の水道水の評価は、「そのまま飲む」人が昨年に続き8.00点	5ページ
■水と災害／東京・大阪・中京圏	
◇水災害への不安、“感じていない”人が過半数 ……トピック【3】	6ページ
◇不安に感じている災害、トップ5のうち、3項目が水に関する災害	6ページ
◇最も不安に感じている災害は、「地震」が断然の1位	6ページ
◇災害時の水の備え、依然として約4割が“備えなし”	7ページ
◇ハザードマップの認知率が、5割近くまで増加 ……トピック【3】	7ページ
◇約4割が自分の住む地域のハザードマップの有無が「わからない」	8ページ
◇ハザードマップの活用率は15%程度	8ページ
■水と文化／東京・大阪・中京圏	
◇水と関わりの深い日本の文化、1位は「水道インフラ」	8ページ
◇外国人に紹介したい日本の水文化も、同じく「水道インフラ」 ……トピック【1】	9ページ
■日常の水意識／東京・大阪・中京圏	
◇節水している人が半数割れ／2010年の61.8%から15.8ポイント低下 ……トピック【2】	9ページ
◇節水や再利用の方法、5年前との比較で各項目の数値が低下	10ページ

【調査概要】

第21回(平成27年度)「水にかかわる生活意識調査」

- ◆調査対象数 : 1,500票
- ◆調査対象者 : 東京圏(東京、神奈川、埼玉、千葉)、大阪圏(大阪、兵庫、京都)、中京圏(愛知、三重、岐阜)に居住する20歳代から60歳代の男女
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査期間 : 平成27年6月4日(木)～6月9日(火)
- ◆回収数(人) :

	東京圏		大阪圏		中京圏		合計		小計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
20代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
30代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
40代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
50代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
60代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
合計	250	250	250	250	250	250	750	750	1,500
	500		500		500				